# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

| 科名 | 適応がん種 | プロトコール名 |
|---|---|---|
| | 切除不能な進行再発大腸がん | ベバシズマブ＋FOLFOXIRI |
| 投与予定 | 休薬を含めて 1クール　14日　施行可能な限り | |

day1 — day8 — day14　**1クール14日**

## 1～12クール目：Day1

メインルート

中心静脈点滴静注　5分
生食　50ml

中心静脈点滴静注　※90分
生食バック　100ml
**ベバシズマブ　5mg/kg**

※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分間、2回目においても忍容性が良好であれば、以降は30分間

アプレピタント125mg　内服

中心静脈点滴静注　30分
生食　100ml
パロノセトロン　0.75mg
デキサメタゾン　9.9mg
d－クロルフェニラミン　5mg
ファモチジン　20mg

中心静脈点滴静注　60分
5%ブドウ糖液　250ml
**イリノテカン　165mg/㎡**

中心静脈点滴静注　120分
5%ブドウ糖液　250ml
**レボホリナート**
**200mg/㎡**

中心静脈持続点滴　48時間
（ｲﾝﾌｭｰｻﾞｰﾎﾟﾝﾌﾟ使用）
生食　規定値
**5-FU　3200mg/㎡**

並列

側管ルート

★プライミング・フラッシュ
5%ブドウ糖液必要★

中心静脈点滴静注　120分
5%ブドウ糖液　250ml
**オキサリプラチン**
**85mg/㎡**

## 13クール目以降：Day1

中心静脈点滴静注　5分
生食　50ml

中心静脈点滴静注　※30分
生食バック　100ml
**ベバシズマブ　5mg/kg**

中心静脈点滴静注　30分
生食　100ml
デキサメタゾン　6.6mg

中心静脈点滴静注　120分
5%ブドウ糖液　250ml
**レボホリナート**
**200mg/㎡**

中心静脈持続点滴　48時間
（ｲﾝﾌｭｰｻﾞｰﾎﾟﾝﾌﾟ使用）
生食　規定値
**5-FU　3200mg/㎡**

○他の標準治療に比べて有害事象の発現頻度が高いため下記の点に注意すること。
・PS、骨髄機能（好中球数・血小板数）、総ビリルビン値、下痢、UGT1A1遺伝子多型などを確認し、治療に適しているか検討すること。
・2クール目以降の投与可能条件、減量基準、減量時の投与量などが添付文書に記載されているので参考にすること。

| 薬品名 | 申請投与量 | 計算量 | 実際の投与量 | 薬価最小組み合わせ | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **ベバシズマブ** | 5 mg/kg | #REF! mg/body | mg/body | 内訳 | 100mg<br>400mg | 0mg<br>0mg | |
| **イリノテカン** | 165 mg/㎡ | #REF! mg/body | mg/body | 内訳 | 40mg<br>100mg | 0mg<br>0mg | |
| **レボホリナート** | 200 mg/㎡ | #REF! mg/body | mg/body | 内訳 | 25mg<br>100mg | 0mg<br>0mg | |
| **オキサリプラチン** | 85 mg/㎡ | #REF! mg/body | mg/body | | | | |
| **5－FU（48時間点滴）** | 3200 mg/㎡ | #REF! mg/body | mg/body | 内訳 | 250mg<br>1000mg | 0mg<br>0mg | |

| 併用内服薬 | 用量（1日量） | 用法 | 投与期間 |
|---|---|---|---|
| デキサメタゾン | 8mg | 分2　朝昼食後 | day2～4（1～12クール） |
| アプレピタント | 125mg | イリノテカン投与60分前までに内服 | day1（1～12クール） |
| アプレピタント | 80mg | 分1　朝食後 | day2,3（1～12クール） |
| **患者の状態に合わせて下記の内服を処方することがある** | | | |
| 炭酸水素ナトリウム | 1.5g | 分3　毎食間 | day1～4（1～12クール） |
| 酸化マグネシウム | 2.0g | 分3　毎食後 | |
| ウルソデオキシコール酸 | 300mg | | |
| メトクロプラミド | 15mg | | |

| 備考 | |
|---|---|